



はじめに

本市では、平成15年4月に、第二次宇部市障害者福祉計画を策定し、「リハビリテーション」と「ノーマライゼーション」の理念に基づいて、障害者に関する施策に取り組んできたところです。

このたび、この第二次宇部市障害者福祉計画が改定時期を迎えたことから、近年の障害者を取り巻く様々な環境や制度等の変化を踏まえるとともに、障害者関係団体との意見交換会等の実施により、障害者の意向を把握し、新たな計画を策定いたしました。

この計画は、「障害のあるなしにかかわらず、互いの個性を認め合い、互いに支え合って、地域の一員として、いきいきと安心して暮らせるまち・宇部をめざして」を基本理念とし、それを実現するために、「ともに学び・育ち、自立して暮らす」、「ともに働き・楽しむ」及び「ともに安心して暮らす」の3つの基本目標を掲げ、保健・医療・福祉をはじめ、教育・就労等の幅広い分野の取り組みと連携を図りながら、障害者施策を推進することとしています。

今後は、この計画を基本に、多くの方々の御意見や御提案を参考にして、施策を推進していきたいと考えておりますので、市民の皆様の更なる御理解と御協力をいただきますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、この計画の策定にあたり、アンケート調査に御協力いただきました皆様や、意見交換会において貴重な御意見をいただきました障害者関係団体の皆様をはじめ、長期間にわたり、熱心に御協議いただいた宇部市地域自立支援協議会の委員の皆様へ、厚くお礼を申し上げます。

平成23年3月

宇部市長

久保田后子

